

## 環境振動運営委員会 2016 年度第 1 回議事録（案）

- A. 日 時 2016 年 4 月 22 日 金曜日 17:30～19:30  
 B. 場 所 建築学会 304 会議室  
 C. 出席者 国松主査 他 15 名

## D. 提出資料（提出委員名）

- No.1-00 (0) 議事次第  
 No.1-01 前回議事録案  
 No.1-02 2015 年度第 4 回環境工学委員会議題  
 No.1-03 2015 年度第 4 回環境工学委員会配布資料  
 No.1-03a 2015 年度第 4 回環境工学委員会配布資料（修正版）  
 No.1-03b 2016 年度大会 環境工学部門 研究懇談会プログラム  
 No.1-04 各小委員会・WG 報告, (測定分析小委員会)  
 No.1-05 (1) 各小委員会・WG 報告, (性能評価小委員会)  
 No.1-06 (2) 各小委員会・WG 報告, (予測解析小委員会)  
 No.1-07 (3) 各小委員会・WG 報告, (評価指針改定小委員会)  
 No.1-08 (4) 各小委員会・WG 報告, (性能評価法検討 WG)  
 No.1-09 (5) 各小委員会・WG 報告, (性能評価法検討 WG)  
 No.1-10 大会 PD 公告資料  
 No.1-11 (6) 大会プログラム資料  
 No.1-12 2016 年度環境振動運営委員会若手優秀発表賞実施要綱  
 No.1-13 2016 年度環境工学各運営委員会若手優秀発表賞実施概要

## E. 議事内容

## 0. 前回議事録確認（資料 No.1-01）

いくつかの修正の上, 議事録は承認された。

建築学会大会 PD の日程

→ 8/25 (2 日目) PM に変更, 200 名程度の部屋を確保。

## 1. 環境工学委員会（本委員会）報告（資料 No.1-02,03）

## 報告事項

- ・資料 1-02 に基づき報告
- ・2015 年 AIJ 大会, 環境工学 OS 数は 61/167 で多い。
- ・若手優秀発表は賞として再スタート
- ・CiNii 終了に伴い, J-stage へ意向
- ・若手優秀発表について, 環境振動運営委員会も 29 歳以下とする。  
 →賞になったが, 審査基準は統一されないのか?  
 →現状は各運営委員会の意向によるが, 統一される方向だと思われる。
- ・委員会名称の英文について統一する方向。  
 運営委員会: Managing Committee, 小委員会: Sub-Committee on
- ・環境振動設計指針策定 WG, 性能評価法検討 WG は承認された。
- ・委員の委嘱, 解嘱は一括承認された。

## 2. 各小委員会・WG 活動報告

## 2-1. 測定分析小委員会（資料 No.1-04）

- ・資料に基づいて説明  
技術報告集を6月に投稿予定（4編目）  
石橋委員から田中委員に交代 → 運営委員会承認（6月の本委員会に諮る）

## 2-2. 性能評価小委員会活動報告（資料 No.1-05(1)）

- ・資料に基づいて説明  
環境振動の見える化について議論している  
iPad を用いて簡易計測を実施した

## 2-3. 環境振動予測解析小委員会活動報告（資料 No.1-06）

- ・資料に基づいて説明  
委員の公募中 → 5/6 まで  
アンケート（回答数 55 名）を実施し、大会に投稿

## 2-4. 居住性能評価指針改定小委員会（資料 No.1-07）

性能評価法検討 WG（松本，資料 No.1-08～09）

- ・資料に基づいて説明  
評価曲線を直線にするか曲線にするかを議論中。  
設計では直線を使うことが想定される。  
周波数か，帯域か？  
鉛直と水平で考え方を統一したほうが良い  
連続的な関数としてほしい  
設計指針と連動させることになる。

## 2-5. 環境振動設計ガイド策定小委員会活動報告

- ・4/20 に WG を開催  
内部振動源，風，交通振動の 3 つの SWG  
性能マトリクス（縦軸）を検討中  
入力評価と応答評価に計測がどう位置づけられるかを議論  
対環境振動設計では？ → 環境振動に対する設計 を略している  
予測解析とも連携していく必要があるのでは？ → 時期を見て連携

## 2-6. 環境振動シンポジウム検討 WG

6 月初旬に開催予定

## 2-7. 広報 WG

2016 年度版に改定済み  
メンバーなどを確認してほしい。

## 2-8. 広域評価モニタリング WG

進捗なし

## 2-9. 戸建て住宅の振動特性 WG

文献調査を実施中（予測解析小委の文献整理方法を参考）

## 3. その他

- ・大会 PD に関する広報資料確認（資料 1-10）

PD の原稿提出締め切りは 7/4

- ・ 大会プログラムに関して概要を説明（資料 1-11）  
今年度は環境工学の発表数が多い（環境振動で 45 編，例年と比較して多い）
- ・ 若手優秀発表賞に関して，実施要綱，概要を説明（資料 1-12, 13）  
今年度の実施詳細については次回運営委員会にて議論
- ・ 今後の委員会開催予定
  - 1 回目 2016 年 04 月 22 日（金） 17：30～ 建築会館 → 済み
  - 2 回目 2016 年 06 月 21 日（火） 17：30～ 建築会館
  - 3 回目 2016 年 10 月 03 日（月） 17：30～ 建築会館
  - 4 回目 2016 年 12 月 05 日（月） 17：30～ 建築会館
  - 5 回目 2017 年 01 月 27 日（金） 10：30～ 建築会館

以上